

## BIBFRAME サポート

### はじめに

Almaは、BIBFRAMEの作品とインスタンスをサポートするマルチフォーマットシステムです。この形式のレコードは、リソース管理、取得、履行、検出のサポートなどのAlmaワークフローで使用できます。このページでは、Almaのさまざまなセクションと機能を通じてBIBFRAMEレコードを管理するためにAlmaで利用できる機能の概要を説明します。

これらの機能は、BIBFRAMEに新しい機能が開発されるにつれて、引き続き拡張および進化していきます。

### 所属機関でBIBFRAMEを有効にする

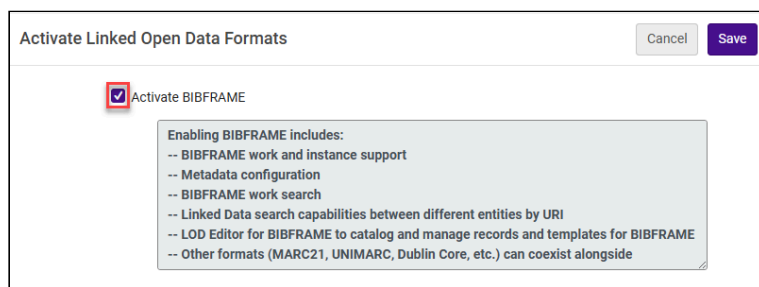
Alma環境でBIBFRAMEサポートを有効にするには、次のいずれかの役割が必要です：

- 目録設定
- 目録管理者

これが有効化されると、Alma内で直接BIBFRAMEレコードを目録化および編集したいすべての機関が、新しいLODエディタを利用できるようになります。

### AlmaでBIBFRAMEを有効化する方法：

1. **設定 > リソース > 目録作成 > リンク付きオープンデータ形式を有効化**を選択します。
2. **BIBFRAME**を有効化するチェックボックスにチェックを入れます。
3. **[保存]**を選択します。BIBFRAMEが所属機関で有効になります。



### Linked Open Data フォーマットを有効化

#### Note

この設定により、リソースメニュー内の作品検索、BIBFRAMEエディタリンク、テンプレートリンク、およびこれらの形式のメタデータ構成が有効になります。

---

## APIサービス

### キーを持つ顧客向けの内部API

BIBFRAME 作品およびインスタンス レコードは、[Ex Libris Developers Network APIコンソール](#) 書誌レコードAPI ([/bibs](#)) を使用して Alma に送信できます。詳細と例については、[API を使用して BIBFRAME レコードを作成する方法](#) を参照してください。

作品とインスタンス間のリンクは、`rdf:resource` 内に含まれる作品 URI を持つプロパティ `bf:instanceOf` を使用して、インスタンスレベルで行われます。

例えば： `<bf:instanceOf rdf:resource="http://id.loc.gov/resources/works/18016450"/>`。その他の構造は、現在APIではサポートされておらず、使用しても、インスタンスは関連する作品にリンクされません。

さらに、APIを使用して、他のメタデータ形式の書誌レコードと同じように BIBFRAME 作品およびインスタンスを更新、表示、削除できます。インスタンスのアップデートAPIには、インスタンスが関連する作業をアップデートする追加機能が含まれています。

BIBFRAME レコードをアップデートする場合、Alma の API は、レコード内の次の要素の少なくとも1つによって既存の BIBFRAME レコードとの一致を作成します（つまり、レコードをアップデートして新しいレコードを作成しないようにするには、これらの URI または ID の少なくとも1つがレコード間で一致している必要があります）。

1. `bf:about` - 作品またはインスタンスのメイン URI。
2. `bf:sameAs` - Alma は、Alma に送信された各レコードに Alma URI を追加し、それが同じ URI として作品またはインスタンスに追加されます。
3. `bf:identifiedBy` - ローカル ID (MMSID) が含まれます。

これらのAPIは、[Sinopia](#) BIBFRAME エディタに対応しており、Sinopia から直接 Alma の BIBFRAME レコードのシームレスなアップデートができます。

Sinopia 統合を有効にするには、[Sinopia の GitHub](#) で問題を開き、統合の有効化をリクエストします。

---

### Note

- Sinopia に API キーを提供する必要があります。
- 前提条件として、Sinopia ステージおよび/または開発環境でアカウントがアクティブ化されている必要があります。

統合を手動でテストすることに関心がある場合は、[Sinopia を Alma 構造に変換するための Python ファイル](#) を参照してください。

---

### オープンAPI

**BIBFRAME 作品およびインスタンスの GET API** を開きます。

これにより、Alma URI を持つすべての個人が BIBFRAME RDF/XML レコードにアクセスできるようになります。

URI は作品とインスタンスへのエンドポイントとして機能します。

詳細については、開発者ネットワークの「[BIBFRAME ドキュメント](#)」を参照してください。



ジーに基づいて管理されており、既存の関係機能の一部としてサポートされています。BIBFRAME 関係はグループ化され、Alma 内で利用可能な関連レコード機能の一部として表示されます。BIBFRAME 関係は関連レコードの URI で定義されるため、Alma は関連エンティティの URI を使用して Alma 内で関係を表示する方法を把握しています。

AlmaがサポートするBIBFRAME関係のRDF/XML構造：

bf:Workの場合:

```
<bflc:relationship>
  <bflc:Relationship>
    <bf:relatedTo>
      <bf:Work rdf:about="Related Work URI">
        <rdfs:label xml:lang="en">関連作品のタイトル</rdfs:label>
      </bf:Work>
    </bf:relatedTo>

    <bflc: relation>オプション

    <bflc:Relation rdf:about=" http://id.loc.gov/vocabulary/relationship/partof ">

      <rdfs:label xml:lang="en">一部</rdfs:label>
    </bflc:Relation>
  </bflc:relationship>

  <bf:note>オプション

  <bf:Note>
    <rdfs:label xml:lang="en">オプションの注釈</rdfs:label>
  </bf:Note>
</bflc:Relationship>
</bflc:relationship>
```

bf:Instanceの場合

```
<bflc:relationship>
  <bflc:Relationship>
    <bf:relatedTo>
      <bf:Instance rdf:about="Related Instance URI">
        <rdfs:label xml:lang="en">関連インスタンスのタイトル</rdfs:label>
      </bf:Instance>
    </bf:relatedTo>

    <bflc: relation>オプション

    <bflc:Relation rdf:about=" http://id.loc.gov/vocabulary/relationship/partof ">
      <rdfs:label xml:lang="en">一部</rdfs:label>
    </bflc:Relation>
  </bflc:relationship>

  <bf:note>オプション

  <bf:Note>
    <rdfs:label xml:lang="en">オプションの注釈</rdfs:label>
  </bf:Note>
</bflc:Relationship>
</bflc:relationship>
```

```
</bf:Note>
</bf:note>
</bflc:Relationship>
</bflc:relationship>
```

私たちは関係に関する BIBFRAME オントロジーの**変更**を認識しており、今後もこの構造をサポートする予定です。

Almaの関連レコードの詳細については、「[冊子目録の関連レコードの設定](#)」を参照してください。

## メタデータ管理

BIBFRAME インスタンスレコードはメタデータエディタで管理できます。レコードはAlmaの外部で作成されたため、表示のみで表示されます。メタデータエディタの追加機能は、BIBFRAMEインスタンスでも機能します。ユーザーはポートフォリオにBIBFRAMEインスタンスを追加したり、抑制/抑制解除したりすることができます。インスタンス、管理タグの追加、在庫の追加、コール番号の抽出、追加記録からポートフォリオまで、さまざまなものを作成できます。

詳細については、[メタデータの管理](#)を参照してください：

## 典拠へのリンク

BIBFRAMEレコードは典拠レコードにリンクされており、非優先用語の文献でも検索可能となっています。リンクは、BIBFRAMEの作品とインスタンスにカタログ化された典拠とURIに基づいています。Almaでは、BIBFRAMEレコードの以下の機関へのリンク付けに対応しています：米国議会図書館名称機関、議会図書館件名標目、議会図書館児童書件名標目、BNE、FAST、MESH。追加の典拠へのリンク付け対応は、後日組み入れられます。

詳細については、[典拠レコードの操作](#)を参照してください。

## インベントリ

Alma目録はBIBFRAMEでサポートされています。所蔵品とアイテムの既存のデータモデルは、BIBFRAMEレコードでも機能します。

詳細については、[Alma Inventoryの紹介 - Ex Librisナレッジセンター \(exlibrisgroup.com\)](#)を参照してください。

## 公開中

BIBFRAMEレコードは、一般公開を通じてAlmaで外部リソースに公開できます。Almaの一般出版は、BIBFRAMEおよびMARCとしてBIBFRAMEの出版をサポートしていますBIBFRAMEとして公開されると、作品とインスタンスが1つのXMLファイルで公開されます。詳細については、[公開と目録の充実化 \(一般公開\) - Ex Libris Knowledge Center \(exlibrisgroup.com\)](#) を参照してください。

Almaは、OCLCジョブへの公開の一部としてBIBFRAMEレコードの公開をサポートしています。BIBFRAMEレコードをオンザフライでMARCレコードに変換し、書誌レベルと所蔵レベルの両方ですべてのMARCレコードとともにOCLCに送信します。上で説明したように、BIBFRAMEをBIBFRAMEとしてOCLCに公開することは、一般的な公開を通じてサポートされています。

OCLC出版プロファイルの詳細については、[OCLCへの公開 - Ex Librisナレッジセンター \(exlibrisgroup.com\)](#)を参照してください。

---

## 受入

マルチフォーマットシステムとして、Alma POラインと取得ワークフローは、BIBFRAMEインスタンスについてサポートされています。

受入の詳細については、[受入インフラストラクチャと高度なツール - Ex Libris ナレッジセンター \(exlibrisgroup.com\)](#)を参照してください。

---

## フルフィルメント

マルチフォーマットシステムとして、Almaでは、リクエスト、貸出、および返却アイテムのフルフィルメント処理におけるBIBFRAMEインスタンスに対応しています。

フルフィルメントの詳細については、[フルフィルメント - Ex Libris ナレッジセンター \(exlibrisgroup.com\)](#)を参照してください。

---

## アナリティクス

Alma Analyticsは、BIBFRAMEインスタンスレコードを、その他の形式の書誌レコードへのサポートと同じ方法でサポートしています。さらに、Linked Open Data固有のフィールドも分析で利用できます。インスタンスURI、仕事のURI、その他。詳細については、見る[リンクされたオープンデータ](#)。

---

# Primo VE

BIBFRAMEインスタンスは、Primo VEですぐにインデックス化され、表示されます。さらに、作業URIによるBIBFRAMEインスタンスの重複排除を設定し、既存の重複排除キーとFRBRキーと組み合わせて、作業URIとURIの式によってBIBFRAMEのFRBRを設定できます。加えて、既存の正規化ルールは、MARCへのオンザフライ変換を介してBIBFRAMEに適用されます。

Primo VE セクションへのマッピングの詳細については、[Primo VE レコードの表示、ファセット、および検索セクションへのマッピング - Ex Libris ナレッジセンター \(exlibrisgroup.com\)](#)を参照してください。

重複排除の詳細については、[重複排除とFRBRプロセスを理解する \(Primo VE\) - Ex Libris ナレッジセンター \(exlibrisgroup.com\)](#)を参照してください。

正規化ルールの詳細については、[表示フィールドとローカルフィールドの正規化ルールの設定 - Ex Libris ナレッジセンター \(exlibrisgroup.com\)](#)を参照してください。

BIBFRAMEの使用が図書館全体で拡大するにつれて、Ex LibrisはPrimo VEのBIBFRAME機能を引き続き強化していきます。